

令和7年2月20日

報道機関各位

青森県立美術館副館長

## 「コレクション展 2024-2」を開催します

青森県立美術館では、令和7年2月22日（土）から4月13日（日）までの会期で「コレクション展 2024-2」を開催します。

つきましては、本展の取材、報道方、ご協力をお願いします。

### 記

#### 【展覧会概要】

- 会 期 令和7年2月22日（土）から4月13日（日）まで
- 開館時間 9：30－17：00（入館は16：30 まで）  
※2月22日（土）、3月15日（土）は、  
ナイトミュージアムにつき20:00まで開館(入館は19:30まで)
- 休 館 日 第2・第4月曜日（祝日の場合はその翌日）
- 会 場 青森県立美術館 地下1階、地下2階展示室
- 観 覧 料 一般700(560)円、大学生400(320)円、高校生以下(18歳未満)無料  
※（ ）内は20名以上の団体料金
- 取材対応日  
下記連絡先までお問い合わせください。
- 展示詳細 「青森県立美術館コレクション展 2024-2 概要」をご覧ください。

報道機関用提出資料（連絡先）	
担 当	青森県立美術館 美術企画課 西川 綾乃
電話番号	017-783-5242
所属長	青森県立美術館 副館長 境谷 孝司

## 青森県立美術館コレクション展 2024-2 開催概要

雪にとざされた青森の長い冬は、深く内面に沈潜し、春の訪れを待つ祈りのための時でもあります。特集展示では、「祈りと瞑想の風景」と題して、過酷な現実への深い悲しみや怒りから、穏やかな生の希求にいたるまで、青森出身または北の文化を題材に描いた4人の画家たちによる「祈り」の表現を紹介します。

また、県立美術館の支援団体「青森県立美術館サポートシップ倶楽部」との共催により青森ゆかりのアーティスト・潘逸舟の個展「アートは美しくなければならない」を同時開催します。

この他、棟方志功の作品や成田亨の特撮デザイン原画、通年展示として奈良美智の作品やマルク・シャガールによるバレエ「アレコ」の舞台背景画を展示します。

### コレクション展 2024-2

特集展示：祈りと瞑想の風景 Prayer and meditation landscape

展示室 P 哀歌 斎藤真一 Lament : SAITO Shin-ichi

展示室 Q 声なき人々のために 阿部合成 For people without voices : ABE Gosei

展示室 M 菩薩のいる風景 田澤茂 Landscape with Bodhisattiva : TAZAWA Shigeru

展示室 L,J 冬の時間 野坂徹夫 Winter Time : NOZAKA Tetsuo

展示室 N, 棟方志功展示室, O 「一枚一枚違ってこそ」くり返し摺り、そして— 棟方志功  
MUNAKATA's woodblock prints are beautiful because they are different one by one:  
MUNAKATA Shiko

展示室 I アートは美しくなければならない 潘逸舟 Art must be beautiful: HAN Ishu

展示室 H チョウコクとカイジュウ 成田亨 Arts of overcoming & taming: NARITA Tohl

### [通年展示]

展示室 F.G 奈良美智 NARA Yoshitomo

アレコホール マルク・シャガール Marc CHAGALL

会期=2025年2月22日(土)~4月13日(日)

休館日=2月25日(月)、3月10日(月)、3月24日(月)

開館時間=9:30~17:00(最終入館16:30)

※2月22日(土)、3月15日(土)はナイトミュージアムのため20:00まで開館(最終入館19:30)

入場料=一般700(560)円、大学生400(320)円、18歳以下および高校生 無料

※( )は20名以上の団体料金